



山科としょかんだより

- for teens -

2018年 冬号



一 生き方探究・チャレンジ体験一

「生き方探究・チャレンジ体験」で図書館の仕事を体験してくれた皆さんの
オススメ本を紹介します！！

■京都市立大宅中学校2年 門上 速 さん



『小説映画 聲の形』
大今 良時/原作
吉田 玲子/脚本
川崎 美羽/著
講談社

主人公「石田将也」は退屈を嫌う“ガキ大将”であった。ある日、転校してきた“聴覚障害”の女の子「西宮硝子」への単純な興味から攻撃を始める。それがエスカレートし、イジメへと繋がった。その自身の行動から、小・中学校と石田はイジメにあう。高校生になった石田は、“ある出来事”をきっかけに、西宮に出会う。そこから始まる、石田と西宮の物語を、ぜひ読んでください！！

本を借りるには・・・

「図書館カード」が必要です。この図書館カードは、京都市の図書館全館共通です。まだカードを持っていない人は、住所を確認できるもの（生徒手帳など）を図書館に持参して、申し込んでください。

資料は、1人10点まで2週間借りることができます。（CD、DVDは2点まで）

山科図書館にない場合は、他の京都市の図書館から本や雑誌、CD、DVDを取り寄せて、借りることができます。

期限内に読み切れなかったときは、貸出延長ができます。（返却期限が過ぎていたり、次に予約が入っている資料は延長できません）

■京都市立花山中学校2年 海老名 里歩 さん

『夜が明けたら、いちばんに君に会いに行く』
汐見 夏衛/著 スターツ出版

「もしも…この真っ暗な夜が明けたら、いちばんに茜に会いたかったんだ」
ある事情から人に嫌われないように、優等生を演じている女子高生、茜。毎日作り笑いをし、自分をなくした無彩色な息ぐるしい世界から救い出してくれたのは、茜を「大嫌い」と言い張る同級生、青磁だった。

■京都市立花山中学校2年 藤村 知哉 さん



『本当は怖い京都の話』
倉松 知さと/著
彩図社

この本は、ガイドブックには載っていない京都の怖い名所や怖い場所などが、くわしく書かれています。

例えると、京都で有名な清水寺は、じつは自殺の名所であるや、坂本龍馬の暗殺現場は今どうなっているかなどが書かれていて、怖いけれどもおもしろいという内容の本になっています。

パスワード・・・

パスワードを登録すると、家のパソコンや携帯から本の予約や貸出期間の延長ができます。

ティーンズコーナーに新しいシリーズ本が入りました！！



『この素晴らしい世界に祝福を！①～⑬』

暁 なつめ/著
KADOKAWA



このほかにも
「ティーンズ
コーナー」に
おすすめの本が
いっぱいあるよ！

『りゅうおうのおしごと①～⑨』

白鳥 士郎/著
SBクリエイティブ



『絶対城先輩の妖怪講座①～⑨』

峰守 ひろかず/著
KADOKAWA



『一華後宮料理帖①～⑦』

三川 みり/著
KADOKAWA

『WHITE ALBUM①～⑥』

月島 雅也/著
SBクリエイティブ



読んでみませんか？

『大きらいなやつがいる君のための
リベンジマニュアル』
豊島 ミホ/著 岩波書店

クラスメイトから受けた心の傷により、高校生活の後半を保健室登校で過ごした著者。卒業後も憎しみを引きずり続けた彼女のリベンジルールとは。今傷ついている子たちに伝える体験談。



『5分後に恋の結末』

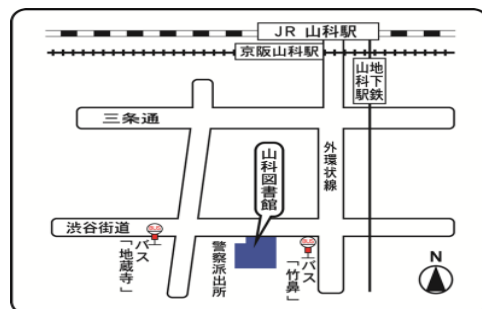
解けない謎と放課後の密談』
橘 つばさ・桃戸 ハル/著
学研プラス



切ない恋やキュンキュンする恋の話が、5分で読める連作短編集。「5分後に以外な結末」シリーズ。

京都市山科図書館

〒607-8086
京都市山科区竹鼻四丁野町 34-1
(山科合同福祉センター4F)
電話(075)581-0503



- 開館時間 平日 : 午前9時30分～午後7時30分
- 土曜・日曜・祝日 : 午前9時30分～午後5時
- 休館日 毎週火曜日(火曜日が祝日の時はその翌平日)
- 年末年始

